

自立活動だより

紀北支援学校自立活動部
令和元年9月発行

9月号の自立活動だよりは、小学部の1ブロック2ブロックの低学年の自立活動の取組みについて紹介します。どのような取組みが行われているか使用している教材もまじえて紹介します。

【1ブロックの取組み】

1ブロック低学年の「時間における指導」は週3時間2限目に設定しています。授業形態は、子どもの実態や目標に応じて個別または小集団で行い、活動内容も様々です。各々の個人のねらいは自立活動の各項目（自立活動だより5月号参照）に関連づけています。

【事例1】ねらい『コミュニケーション』 (2)言語の受容と表出に関すること

取組み内容

複数の課題に取り組んでいます。今回は4つの課題に取り組みました。手の操作性、文字の理解力、見分ける力を高める他、ここでは難しい場面や困った時に「手伝って」と伝えられることもねらっています。

- ・今回の課題は
 - ① 名前を1文字ずつマッチング
 - ② プリント学習→ファイルにとじる
 - ③ おはじきをつまんで、色々な向きの穴に入れる。
 - ④ 見本を見てビーズのひも通し

取組み成果

先生が目の前にいる場面では「手伝って」と伝えられることが多くなってきました。今後は日常生活の中でも伝えられるように汎化も目指しています。



机の右上に「できた」「てっだって」がいつでも伝えられるように2枚のカードを常に提示



てっだって

使用教材
プラスチック製保存容器（100均に売っている）のふたに色々な向きの穴を4箇所あけて、穴のふちは4色の色分けで、入れるところをわかりやすくしています。手作りです。

他にもこんなこともねらっているんだ。



自立活動を始める前に、課題内容と順番をミニボードで示しています。課題がひとつできる度に教師が花丸カードを渡し、4つ課題をがんばったら、5つ目のお楽しみに何をするか（□で囲んだところ）を自己選択する場面を設定しています。

自己紹介
本校の視覚支援のカードやスケジュールを作成する際に使われる Drops と呼ばれるシンボルマーク、イラストのボクの名前はドロ太です。



【2ブロックの取組み】

2ブロックの「時間における指導」は毎日2限目に設定しています。以下は、身体面、認知面の向上に向けた取組みです。

【事例2 その1】 『身体の動き』 (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること

取組み内容

上肢や下肢の筋力を高め、何かにつかまって立ち上がったり、しゃがんだりできるようになるために、階段上りやすべり台を使った運動に取り組んでいます。

取組み成果

滑り台は好きなので、意欲的に滑っています。滑り終わった後、いざり這いで階段まで移動し、支柱を持って立ち上がれるようになりました。階段を上った後滑り台を滑るのに少し段差があり、お尻をあげないと滑れない状態だったので、介助するうちに、自分で腹筋を使ってお尻を上げられるようにもなり、自ら考えての行動を引き出すことができました。



教室に階段とすべり台を設置し練習に励んでいます。



すべり台はおもしろいなあ・・・



【事例2 その2】 『環境の把握』 (4)認知と行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること

取組み内容

手指の操作性や見分ける力をつけるために①ボールをつかんでではなく→②つかんで缶に入れる→③小さい穴に押し入れる→④穴を弁別して入れる、の順番で取り組んでいます。

取組み成果

当初は、ボールをつかむとすぐに離していましたが、今ではボールを缶に入れ、小さい穴に自ら入れようとしています。そして、課題をレベルアップして、穴の有無を弁別して入れることにも取り組んでいます。



穴が空いているのはどっちかな？よく見てね



*本号で紹介した事例はほんの一部ではありますが、自立活動では、児童生徒の様々な側面の発達を促進するために、個々の実態に応じた目標・課題を設定し取り組んでいきます。また、本号で紹介したように、授業時間を設定して行う「時間の指導」での指導ばかりではなく、各教科等の指導においても、自立活動の指導と密接な関連を図って行います。

参考文献：特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）平成30年 文部科学省